

# リサイクルの質向上へ

## プラスチックリサイクルピレッジ

### 機器製造と原料商社の10社

リサイクル関連機器メーカー、再生原料商社など10社共同によるコンソーシアム「プラスチックリサイクルピレッジ」は、技術の高度化とネットワークにより、持続的で質の高い

リサイクル事業を提案する。原油・樹脂価格下落や海外の再生原料市場の変化に対応し、国内外需要家の要望を満たす高品質の再生材加工・供給を目指す。2013年からコンソーシアムによる取り



プラスチックリサイクルの「未来」がここに結集。

#### 技術とネットワークで高度化

組みを始めた。今回、ピレッジに参画するのはリサイクル機器メーカーの山本製作所、名濃、クラウド、日本シーム、サンモア、テク

社。パナ・ケミカルが事務局（☎0120・15・8793）を務める。産油国の生産調整や中国の再生プラスチック

ノリックス、ORWAK、Japan、プラントシステムと、再生プラスチック原料商社のパナ・ケミカル、協賛の発泡スチロール協会の10社は、樹脂やグレードに応じた破碎や圧縮、溶解固化、異物除去、洗浄などの効率向上や高品質の再生材加工が不可欠になっている。リサイクル企業の新たなネットワークも重要だ。

5月24日から東京ビッグサイトで開催される2016NEW環境展などを通じて、リサイクル・廃棄物処理業界、廃プラスチックの発生元企業、再生プラスチックの需要家企業に「マテリアルリサイクルの未来」を提示する。各社が技術・サービスを提案することも

に、共同によるさまざまな技術や有価買取の提案を行う。